学校だより
伊達市立星の丘小中学校
☆輝き☆
第７号
令和７年10月31日

学校教育目標

〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成
〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成

『地域とともに築くキャリアの芽』

校長　福岡　雄司

今年、星の丘小中学校は開校 20 周年を迎えます。この間に本校には、豊かな「風土」が培われてきました。「風土」とは、文字通り「風」と「土」です。学校における「風」とは、教職員のように着任しては数年後に去っていく存在。そして「土」とは、バウムハウスや地域の皆さまのように、長く学校を支えてくださる存在です。しっかりと耕された土に、さまざまな変化を運んでくる風が重なることで、豊かな風土が生まれます。これからも学校・バウムハウス・保護者・地域が力を合わせ、子供たちにとって安心できる学びの場である星の丘小中学校の風土を、さらに育んでまいりたいと願っております。

さて、10 月 23 日・24 日には、６つの職場や事業所において中学２年生が職業体験を実施しました。自分の興味のあった仕事に真剣に向かい合う生徒、働くことの大変さを実感している生徒、普段は苦手な挨拶をしている生徒等、私も日常的な学校生活では見ることのできない子供たちの社会性という違う一面に気付かされました。この体験を通して、働くことの喜びや充実感を味わうことができたことでしょう。さらに、11 月上旬には中学１年生の職場見学が予定されています。こちらも、自分の将来像を描くきっかけとしてほしいと考えています。小学生においても、体験学習や地域の方との交流を通して多様な人々と出会うことは、キャリア形成の入り口となります。そうした出会いの中で、「あんな人のようになりたい」「こんな仕事に挑戦してみたい」という憧れや願いを抱くことが、将来の夢や目標を形づくる第一歩となります。

地域の皆さまのお力添えにより、「風の子」である本校の子供たちの未来への希望―キャリア観の形成―が培われていきます。何を目標にするのか、どのように働きたいのか、どんな人でありたいのかを自問し、「自己決定」の意識をもってキャリアを主体的に選択してほしいと思います。

キャリア観の形成において、「キャリアドリフト」という考え方があります。キャリアドリフトとは、将来のキャリアについて、あえて詳細な道筋を立てず、節目ごとに起こる変化を楽しみ、自然の流れに身を任せるというものです。従来のキャリア観―キャリアデザイン―では、キャリアプランを設定することが重要とされ、将来の理想像を明確にした上で「What（何になるのか）」を設計することが多くありました。一方、キャリアドリフトは、偶発的な出来事に柔軟に対応する「漂う」キャリア観です。「How（どのように働きたいか）」を定めておくことで、予測不能な変化にも柔軟に対応できるようになります。ただし、自己決定の感覚が欠けてしまうと、単に環境の変化に流されるだけになってしまいます。

９月に行われた「だて学ミュージアム見学」後の中学生の感想に目を通しますと、「これからは〇〇したい」「自分の夢が〇〇なので、～について調べたい」「歴史に興味をもったので、もっと勉強したい」など、それぞれが未来を考えるきっかけを得ていることが伝わってきました。

子供たちが、柔軟に漂流しながらも「自らの人生を舵取りできる力」を身に付けられるよう、教育活動を展開してまいります。今後とも地域の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

第 19回星の丘フェスティバル

10月4日(土)、「第19回星の丘フェスティバル」が行われました。

児童生徒会のオープニングあいさつで幕を開け、小学校全児童による音楽発表『音楽のおくりもの』を披露。大勢の人たちの前での発表は緊張したでしょうが、練習を重ねてきた歌や器楽を堂々と発表しました。

また、総合的な学習の時間の発表として、小学校では2～4年生が学校周辺の自然について、5年生が福祉について、6年生が修学旅行の思い出を、中学校では、だて学、進路学習、修学旅行の自主研修のまとめをそれぞれ発表しました。学んだことをスライドにまとめ、相手に伝えることを目標として取り組んだ発表でした。そして、中学校全生徒によるステージ発表では、器楽演奏だけではなく、それぞれの生徒たちのパフォーマンスも取り入れた発表でした。児童生徒たちは様々な葛藤と闘いながら当日を迎えました。一人一人が役割を自覚し、立派に果たす姿に成長を感じるフェスティバルとなりました。参観くださった皆様、ありがとうございました。

実りの秋の野外活動

小：科学館　　中：ふぉれすと鉱山

小学校では10月7日(火)に室蘭市の“DENZAI環境科学館”で体験学習を行いました。浮遊するこまや、風速30m／秒の風、不思議な色の影などの体験を行った後に、プラネタリウムの見学を行いました。科学の不思議に触れた一時となりました。

中学校では 10 月 10 日(金)に登別市の鉱山町にある“ふぉれすと鉱山”で体験学習を行いました。「マウンテンバイクでの散策」、「鉱石探し」、「火おこしチャレンジ」の中から興味のあるものを選択し体験しました。整地されていない林道をマウンテンバイクで走行するのは、少し大変だったようです。鉱石チームは、地面からキラキラした石を探し出しました。火おこしチームは、まき割りから始まり、普段は使うことのないマッチで着火し、火をおこしました。体験後は、各学年でメニューを決めたバーベキューを行いました。それぞれの学年が楽しみながら昼食を食べました。

働く楽しさ、大変さを知る

10月23日～24日の2日間の日程で中学生の職場体験学習がありました。今年度は 2 年生5名が農園、福祉施設、病院、図書館、ホームセンター、菓子店でお世話になりました。

働く方々からの話を聞いたり、実際に体験したりすることで、仕事の大変さとともに働くことの喜びも感じることができたのではないでしょうか。この経験が、将来の自分をイメージするきっかけにもなったことと思います。

今後は、体験の様子や考えをまとめ、12 月3日(水)に発表する予定です。お世話になった事業所の皆様に感謝いたします。

11月行事予定

３日（月）文化の日
５日（水）小中部会
７日（金）職場見学（中１）
　　藍染体験（小）
　　漢字検定
　　定時退勤日
１０日（月）小中部会
１２日（水）研修日
　　児童生徒美術作品展（18日まで）
　　カルチャーセンター１F
１３日（木）市教研研究大会（オンライン）
１４日（金）学力テスト総合Ｃ（中３）
　　校務部会
１７日（月）小中部会
　　北海道教育長行政視察
　　授業交流週間（２８日まで）
１８日（火）実務者会議
　　いのちの学習（中：性教育）
１９日（水）きつつきの会（小）
　　運営委員会（卒業式）
２０日（木）伊達高等養護学校スクール
　　コンサート
２１日（金）職員会議
　　定時退勤日
２３日（日）勤労感謝の日
２４日（月）振替休日
２５日（火）教護会
２６日（水）小中部会
２８日（金）児童生徒会

校舎外清掃活動

10 月 20 日（月）に中学校では、校舎外清掃活動を行いました。今回は、普段体力つくりの時間に走るマラソンコースを中心に、全生徒で取り組みました。この活動を通して、自分が過ごす環境に関心をもち、少しでも改善しようとする意識を育てたいと考えています。

この日は、この時期にしては気温が低い中ではありましたが、それぞれが積極的にごみを探していました。中には道端より、さらに奥まで踏み込んでごみを拾っている生徒もいました。終わった後には、皆すがすがしい笑顔でした。